

エスペラントは心の国境を消すことばです

Organo de Hokkajda Esperanto-Ligo

Heroldo de HEL

N-ro 154

Augusto 2014

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

北海道エスペラント連盟

[Enhavo/目次]

- ・表紙、Enhavo/目次 P. 1
- ・Raporto pri Fru-somera Kunlog[^]ado de HEL 2014 P. 2
初夏合宿反省（阿部映子）
- ・Mezgrada Kurso de Fru-somera Kunlog[^]ado P. 3
初夏合宿「中級講座」 LA VERDA KORO/Julio Baghy
/HOS[^]IDA Acus[^]i
- ・シラカバ花粉症/ Polenozo de japana blanka betulo P. 4
翻訳：横山裕之/Trad. : JOKOJAMA Hirojuki
- ・C[^]u Esperanto estas aglutina lingvo?/ P. 8
エスペラントは膠着語か? /HOS[^]IDA Acus[^]i
- ・Danke ricevitaj (星田淳扱い) P. 9
- ・「エルプラまつり2014」でエスペラントを P. 10
売り込もう! /後藤純子
- ・Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido .../ P. 11
2014年度第5回 HEL 委員会議事録
- ・[編集後記/Redaktanto parolas] P. 12

Raporto pri Fru-somera kunlog[^]ado de HEL 2014

2014年度北海道エスぺラント連盟 初夏合宿反省

3クラス（一般市民向け入門・初級・中級以上）を計画しましたが、昨年同様に一般市民の参加はなく、2クラスでの実施となり、講師2名、HEL会員以外3名を含めて13名の参加がありました。

入門クラスについては、合宿ではなく土曜日午後と日曜日午前中実施する旨の参加案内チラシを作成し、一部の新聞や新聞折込地域紙にも掲載され、1名から申し込みがありました。が、風邪をひいて参加できなくなったとの電話連絡が前日にあり残念でした。以前、クリスチャンセンターで宮岸先生に習ったことがある白馬友子さんという方なので、今後も機会があったら連絡したいと思います。

また、HEL会員以外では、初級に大野美恵子さんが参加されました。これまでも、市民向け学習会やエルブラ祭り等に何回か参加しています。会場に来るのは初めてだったので少し道に迷ったとのことで、チラシにもっとわかりやすい地図をつける必要があると反省しました。

中級以上には、SATの宮沢直人さん（以前HEL会員）と、北大生の■■■■さんが参加されました。■■■■さんは、学生機関誌Pas[^]oを創刊した記事が、JEI機関誌エスぺラントの本年6月号に載ったのでご存知の方もいらっしゃるでしょう。

全員で歌う時間を設けて、山形エスぺラント・クラブ会長の国井兵太郎さん制作のCD「TAGIG[^]0」をかけて、拡大コピーした歌詞を見て知っている歌を合唱してもらいました。オペラ歌手が歌っているので、ちょっと合唱には無理があったかもしれません。

拡大コピーした歌詞は、まだ余部があるので、希望者がありましたらお送りします。

各クラスの学習内容については、講師の方の報告を御覧ください。
とりあえず、天気にも恵まれて、何とか実施できました。講師の星田さん、横山さん、また、会場をお貸しくださった柴田先生に深く感謝申し上げます。
(阿部映子)

Mezgrada Kurso de Fru-somera Kunlog^ado
初夏合宿「中級講座」 LA VERDA KORO/Julio Baghy

HOS^IDA Acus^i

Mezgradan Kurson gvidis HOS^IDA.

参加者は8名:S-roj 後藤義治、白濱晴久、XXXXXXXXXX 谷口岩雄、宮沢直人、
柳幸三郎、S-inoj 後藤純子、柴田智美

テキストは Julio Baghy の LA VERDA KORO を使った。Facila romaneto por komencantoj と副題が付いているが これを読み理解して行くのは「中級受講者」にとっても簡単ではなかったようだ。質問や説明など、進行は nur Esperante を目標としたが50%も達成できたかどうか。

この物語の舞台は「ロシア極東との交流」で我々(HEL-anoj)も訪れたことのある沿海州ウラジオストク周辺。一次大戦の終わりごろ(1918~1920年)この捕虜収容所でエスペラントを教えたBaghyが自分の体験を中心に構成した作品。当時捕虜収容所のあったNikolsk-Ussurijsk はいまウラジオの北90キロにあるUssurijsk、もう一つの収容所のあった Pervaja Rjec^ka はウラジオ市内、港の北3キロほどのところ。この本の本文は78頁ありとても読み通せないのかわかりやすく面白そうなところ、日本関係の話の出てくるところなど13頁をコピーしてテキストとした。

40頁から出て来るVonagoは1914~1922年の間ウラジオのエスペラント運動を指導していた人。第1回以来何回かの世界大会に出た時のザメンホフの印象を情熱的に話している。42, 43頁からでてくる japana kapitano Oba は福岡出身の海軍少佐大場嘉藤(おおばよしふじ)、ウラジオに入港していた戦艦『肥前』に乗り組んでいた。当時日本は米英仏とともにシベリアに軍隊を出していた。

テキストの文をひとつづつ読んでもらい、その理解を確かめながら進めていったが、「文」と「動詞」の理解でつまづくことがときどきあった。この作品には登場人物が多い。li や s^i で示される主語が誰かを間違えると はなしは「とんでもない展開」をしてしまう。「動詞」は語尾 as, is, os, us, u が付いていて、その単語が使われる状況を示しているのだが・・・動詞を辞書に出ている意味だけで理解し語尾は無視(または誤解)して理解を組み立てて「意外な展開」になりそうなこともあった。動詞は語尾を含めてきちんと理解して読む必要がある。この本は「文を読み、理解する」実にいい教材だということを再発見できた。

ほか Baghy の詩を読み、エスペラントの詩についても少し説明した。エスペラントの詩を文学作品として世間に認めさせようと努力したKalocsayと、わかりやすい作品を書いてエスペラントを大衆に普及させようとしたBaghy, ハンガリー出身のこの二人の立場(役割)の違いは参加者に理解してもらえたと思う。

シラカバ花粉症

Polenozo de japana blanka betulo

翻訳: 横山裕之

Trad. : JOKOJAMA Hirojuki

本州ではスギ花粉症が有名ですが、北海道ではスギ花粉の飛散は少なく、シラカバ花粉が多く飛散しています。

En la japana ĉef-insulo Honŝuo bone konata estas la polenozo de la japana kriptomerio Sugio. Sed aliflanke en la nord-insulo Hokkajdo malmulte da Sugia^(*) poleno flugas, sed multe da betula^(*).

シラカバ花粉は春とともにやってきます。

Kun printempo la betulaj polenoj venas.

春には、多くの人が戸外にでてきます。

Printempe multaj homoj troviĝas ekstere.

ゴールデンウイーク^(*)前から 6 月の初めまでの間、風が吹いてシラカバの花粉が飛散します。

De antaŭ Ora Semajno^(*) ĝis komenco de junio vento blovas kaj la betula poleno flugas.

シラカバの花粉は直径が 1 ミリメートルの 40 分の 1 前後で、3 つの突起(花粉管口)を持つ特徴的な形をしています(図 1)。

Diametro de la betula poleno estas ĉirkaŭ unu kvardekono de 1-milimetro. La poleno havas karakterizajn formojn, tri ĝibaĵojn (polenajn tubojn). (Bildo-1)

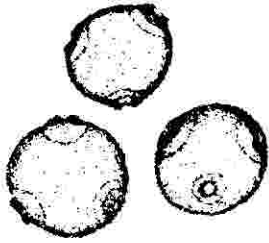


図1: シラカバの花粉
Bildo-1: La betula poleno

シラカバの花粉を吸い続けると、これまでシラカバ花粉症の症状を示さなかった人でもある年から突然発症する恐れがあります。

Eĉ homoj sen la simptomoj, se daŭre enspiradas la betulajn polenojn, tiuj povas subite havi la betulan polenozon iu-jare.

正確な患者数は把握できていませんが、北海道では最近シラカバ花粉症患者が増えてきていると言われています。

Onidire en Hokkajdo lastatempe pliĝas malsanuloj en la betula polenozo, kvankam oni ne scias la precizajn nombrojn de malsanuloj.

シラカバ花粉症は北海道に限られたものと思われがちですが、世界的に見るとヨーロッパ北部やアメリカ北部などでも以前からあるものです。

Oni emas pensi, ke troviĝas la betula polenozo nur en Hokkajdo. Sed rigardante la mondon, ĝi jam de longe troviĝis kaj troviĝas ankaŭ en la norda Eŭropo, la norda Ameriko kaj aliaj.

花粉症は花粉に含まれる特定の蛋白質が原因で起こるアレルギー疾患で、症状は、目の痒み、鼻水、くしゃみ、鼻詰まりなどです。

La polenozo estas alergia morbo, kiun kaŭzas specifika proteino inkluzivita en poleno. La simptomojn karakterizas okula jukado, nazmuko, ternado, noza obstrukco kaj aliaj.

シラカバ花粉症患者の何割かは果物過敏症を併発し、リンゴ、サクランボ、キウイ、梨、桃、イチゴ、メロン、プラム、柿などを食べると口の中が痒くなったり、重症になると吐いたりすることがあるといわれています。

Onidire parta malsanuloj en la betula polenozo samtempe suferas de anafilaksio de fruktoj. Se tiuj manĝas pomon, ĉerizon, kivon, piron, persikon, fragon, melono, prunon, persimonon kaj aliajn, povas esti, ke tiuj sentas jukon en sia buŝo kaj eĉ vomigas okaze de severa sanstato.

北海道立衛生研究所では 1996 年から空中のシラカバ花粉の観測を開始し、現在では保健所の協力を得て道内主要6都市(函館、札幌、岩見沢、旭川、帯広、北見)で観測を行っています。

Hokkajda Instituto pri Publika Sano komencis observi la betulajn polenojn en la aero ekde la jaro 1996, kaj nun observas ilin en ĉefaj 6 urboj en Hokkajdo (Hakodate, Sapporo, Iwamizawa, Asahikawa, Obihiro kaj Kitami) kunlabore kun anoj de sanitaraj oficejoj.

6都市の中では、シラカバ花粉が最も多く飛散するのが札幌で、岩見沢、旭川、北見、帯広、函館と順に少なくなっていく傾向がありました。El la 6 urboj Sapporo estas la urbo, kie la polenoj flugas la plej multaj. En la aliaj sekvantaj la polenoj tendencas al malmultiĝo laŭ jena ordo: Iwamizawa, Asahikawa, Kitami, Obihiro, Hakodate.

なお函館ではスギ花粉も多く飛散するため、スギ花粉の観測も行っています。

Kaj en ĉi tiu lasta - Hakodate- flugas ankaŭ multe da Sugiaj polenoj, tiel ke oni observas tiujn.

(*)

北海道の主な花粉症は、4月下旬～6月上旬のシラカバ花粉症、5月下旬～7月上旬の牧草(イネ科)花粉症、8月下旬～9月前半のヨモギ花粉症です。上記以外の花粉(イチイ、マツ等)についても札幌では調査を行っています。

Ĉefaj polenozoj en Hokkajdo estas jene: la betulaj ekde malfrua aprilo ĝis frua junio, paŝtejoj (gramineaj) ekde malfrua aprilo ĝis frua junio, artemiziaj ekde malfrua aŭgusto ĝis frua septembro. Ankaŭ aliajn polenojn (taksusaj, pinaj kaj aliaj) oni ekzamenas en Sapporo.

(*) Sugio: japana vorto por kriptomenio
(japana kriptomenio) — 6 —

これらの観測・解析結果は「花粉情報」として当所のホームページ
(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp>)で提供しております。

La observa kaj analiza raportoj pri tio estas donita en TTT-ejo de la
Instituto kiel informo pri polenoj.
(<http://www.iph.pref.hokkaido.jp>)

(*)Ora Semajno: la japanaj malfruaj aprilaj kaj fruaj majaj seri-festotagoj
(ゴールデンウィーク:日本の4月下旬と5月上旬の連休)

参考資料

La citita TTT-ejo estas jene:

http://www.iph.pref.hokkaido.jp/charivari/2004_04/2004_04.htm

「シラカバ花粉症の季節はもうすぐです」(月刊誌「しゃりばり」2004年4月号)

"Baldaŭ venas la sezono de polenozo kaŭze de japana blanka betulo"

(La eseo troviĝas en la monata gazeto "Syaribari" N-ro 16, la aprilo de 2004)

著者から引用許可の承諾をいただいて、この記事から作成しました。

La aŭtoro permesis, ke mi citu la eseon. Kaj mi skribu ĉi tiun artikolon.

この記事は、日本で唯一のアイヌ語新聞「アイヌタイムズ」の第60号
(近日発刊)に投稿した「シラカバ花粉症」の一部を修正し、エスペラン
ト訳したものです。

エス訳にあたっては、椿さんにご協力をいただきまして作成いたしまし
た。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

この投稿文は、次のウェブページにも掲載予定です。

<http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index-j.htm>

<http://www.geocities.jp/aynuitak/>

なお、アイヌタイムズの連絡先は以下のとおりです。

(購読連絡先: 〒055-0101 北海道平取町二風谷 80-25 荻野志朗宛)

電子メール: ainuitak@yahoo.co.jp (横山・中継ぎ連絡先)

C^u Esperanto estas aglutina lingvo?

エスペラントは膠着語か？

HOS^IDA Acus^i

2009年、ザメンホフの生誕150年にあたって多くの論説があちこちに出ていましたが、この問題について少し古くなりますが

La genio Zamenhof kreis lingvon ne-Europan, kas^itan sub Europa masko (天才ザメンホフはヨーロッパ的な仮面にかくされた非ヨーロッパ的言語を創造した)

が Esperanto(UEA 機関誌 Majo 2009) に出ていました。筆者 Andre' Cherpillod はエスペラントの単語構造を分析してエスペラントは現実の膠着言語より 膠着性が徹底していて むしろ孤立語に近い、と述べています。

「エスペラントは膠着語だ」と言ったのは 1946 年の Waringhien が初めてのようですが、別に「新発見」というわけではない。1887 年ザメンホフが出したいわゆる第1書の序文に はっきりと書いてありました。

- > 言語全体が、種々の文法的形態を取る単語(ヨーロッパで一般的な屈折変化形でしょうか)の代わりに、変化形のない単語からのみ成立するように、私は
- > 観念を完全に分解して独立した単語に編成しました。… 文法上の形式、
- > 単語相互の関連性などは変化形をもたない単語の結びつきによって表現されます。しかしこのような言語構造はヨーロッパの人にとっては全く未知のものであり、それに慣れることは困難だと思われます。それ故、言語の分解は
- > すべてヨーロッパ語の精神に則って行ったのです。… 学習書に従って
- > 私の言語を学んでも、その人はこの言語構造が自国の言語構造と異質のものであるとは思いません。

(川西徹郎訳、「新ザメンホフ読本」JEI 2009, より)

非ヨーロッパ的な(かくれ膠着語的な)言語を作る、というのはザメンホフの当初からの意図だった、となりますね。しかしこのような単語構造の規則化、簡略化の結果、エスペラントは大いに便利な言葉になり、私の場合も1~2年たつと、ずっと前から学校で習った英語より使いやすいものになっていました。心当たりある方、多いでしょう。

「欧米語を規則的かつ簡略化した結果、自然に膠着語に似たものになった」と言えるのでないか、と思います。

屈折語: Fleksia lingvo

単語とその文法的変化の部分が融合して分解できないもの。印欧語(ヨーロッパの言語の大部分)がこれに属する。

膠着語: Aglutina lingvo

単語にいろいろな機能(意味)を持った要素が膠で着けるようにくっついていくが各々の要素が分解できるもの。トルコ語、モンゴル語、日本語など。

* Eskalo: 川崎エスペラント会 (ESKa) 発行、2014年6月25日、第153号(2014年第2号)、B5X10頁のうちエスペラント(E)文12行。武蔵小杉の青年エスペランティスト集会、5月31日~6月1日の箱根合宿、「英語では見えない世界が見えてくる/北川郁子」

* Novaj^oj Tamtamas; n-ro 294/junio 2014, Internacia Gazet de Jokohama Esperanto-Rondo (JER, Hamarondo) A4X4頁、エスペラント(E)文。2~3頁の

Kio poste okazis al Barbro kaj Eriko? は70年前から親しまれた読み物 Barbro kaj Eriko にその後の話を作ってみる試み。会員4人の作品を発表。BELETRO 欄の Du malgrandaj mortoj (1) はエロシエンゴが日本語で書いた作品「二つの小さな死」をエスペラント訳したもの。

* La Movado: 関西エスペラント連盟 (KLEG) 発行、N-ro 761 julio 2014, B5x16頁のうちE文4頁弱。巻頭記事は「第62回関西エスペラント大会--」、305人参加し、公開番組には一般市民50人の参加があった。対訳「おさなき灯台守/竹久夢二: Eta gardisto de la lumturo / trad. Oki Keimei」は連載第2回。Miyamoto masao のE訳による柳田国男作「日本の昔話」よりの連載7回目は Frau~lino Ugvisa(鶯姫)。

* La Tamtamo; 第466号、2014年6月、横浜エスペラント会 (JER) 発行。A4X8頁、日本文。行事の予告、報告に続いて「多文化共生とエスペラント/柴山純一」が3頁以上にわたって。

* La Informilo de NEC/センター通信 第273号、2014年7月2日 名古屋エスペラントセンター (NEC) 発行、B5X20頁のうちE文6頁半。「NEC四十周年記念パーティーの報告/Ikai Yosikazu」、「NEC小史(1)/鈴木善彦」、に続いて

センター関係出版物紹介、東海エスペラント大会(5月、犬山)報告、に続く「12 tagoj en Korio ... miaj spertoj/藤本日出子」は韓国のE-istojとの12日間の交流について、E文4頁の報告。あちこちに顔のはっきり分かる集会の写真が出ている。

* NOVA VOJO: N-ro 508 julio 2014, EPA(エスペラント普及会)、A5X34頁のうちE文8頁。巻頭言「言語と国語/碓大福」は最近のウクライナ問題に至る近代東ヨーロッパの見のがせない歴史解説。「Rakontoj el Oomoto/大本物語/Roman Dobrzynski, 和訳: 矢野裕己」は対訳で連載開始。「EPAの91年-ちよっと小路へ」は13回目、「欧州の大本宣伝使(戦前)」に入る。ブルガリア出身の Stojan G^ug^ev 等1970年代のUKに出ていた人の名前も出てくる。第62回関西エスペラント大会の写真が2頁。

* Ponteto (Bulteno de Esperanto-Ligo en Regiono Kantoo) Julio 2014 N-ro 266, B5X20頁のうちE文12頁は第63回関東E大会(6月6~7日、東京深川江戸資料館)の報告、「藁庄だより/UNU LANDO DU SISTEMOJ-LIBERO KAJ RACIO/SASAKI Teruhiko」、Leteroj de Tigro(16) Lernado --- Kiel fluparoli kaj Fluparoligi la aliajn? --- 実に豊かな内容がそろっている。日本語記事には「反戦川柳」、[八ヶ岳エスペラント館のうた/牧野三男]など。

* Mejl^s^tono 2014 julio, n-ro 244, 仙台エスペラント会、B5X12頁のうちE文6頁半。巻頭記事と写真2枚は5月に開かれた La 34a Verda Kunlog^ado(第34回みどりの合宿)の報告。

RAKONTO FIKCIA として La memoro de la rivero Hirose/OOKOS^I Keji^i が連載開始。若かりし日の広瀬川の岸辺の思い出。「第102回日本E大会実行委員会だより」は来年の大会(仙台)の準備状況。

* Novaj^oj Tamtamas; n-ro 295/julio 2014, JER, A4X4 頁、エスペラント文。Niaj klasoj kaj Kursoj(講習・学習クラス報告)、つづく Hama-Ronda Vespero は TTT(Araneas Reto =www)の説明。BELETRO 欄ではエロシエンコが日本語で書いた「二つの死」の E 訳/Murata Kazuyo が 2 回目で終わった。

* La Tamtamo; 第 467号、2014 年 7 月、横浜エスペラント会 (JER) 発行。A4X8 頁、日本文。内容は Novaj^oj Tamtamas と共通のものが多い。読書会報告は Rakonto de Ovoj について。「UEA 東西双書について-エスペラント図書館のために」は 1 頁にわたるリスト。

* La Movado: KLEG 発行、N-ro 762 agosto 2014, B5x20 頁のうち E.文 5 頁強。巻頭記事は「柳田国男とエスペラントの人びと/橋弘文」。Kajero Libervola は

La genia pentristo AOKI Shigeru Kaj lia vivo/MATSUMOTO Midori(明治時代の画家青木繁)。連載記事は「語尾なし単語の使い方/相川節子」、「楽しい作文教室/塚本猛」、「モバード俳壇 Rondo Hajkista/広高正昭」、「対訳:おさなき灯台守/竹久夢二, trad. OKI Keimei」,Vortaro por Lernantoj/Lau~lum..

「柳田国男作『日本の昔話』より」。「中国山東省濰州市の世界博物館訪問福本博次」。「(アフリカ)マラウィ、ザレカ難民キャンプのエスペラント学校支援/相原美紗子」は今エスペラントだからこそできる国際交流、と感じられる。

* 受講生通信; 第 155号、2014-08-01、沼津エスペラント会、B5X16 頁のうちエスペラント文 2 頁。この頃北海道からの受講生みえず。

「エルプラまつり 2014」でエスペラントを売り込もう!

後藤純子

「エルプラまつり」とは、札幌駅北口前にある札幌エルプラザ公共 4 施設で活動している市民団体やサークル団体の活動紹介、体験会を中心に 6 年前より年 1 回実施しているイベントです。今年は、66 団体が参加するそうです。(来場者は、毎年約 8000 人位)

HEL では毎年、エスペラントを紹介するパネルやエスペラントの出版物を展示したり、ミニ講習会をしたこともありました。エスペラントのちらしは、会場内のあちこちで毎回、数百枚配ってエスペラントの存在をアピールしてきました。

エルプラまつりは、「どっこい生きてるエスペラント」を市民に紹介する絶好のチャンスです。一人でも多くの人にエスペラントを知らせていこうではありませんか! ご参加をお待ちしています。

○エルプラまつり→9月6日(土) 10:00~16:00

○北海道エスペラント連盟の展示場所は 3 階 和室 4 です。

Protokolo de la 5-a Komitato Kunsido de HEL/Kasjaro 2014
2014年度 第5回北海道エスプラント連盟委員会議事録

[日時] 2014年6月15日(日) 13:10~14:06
[場所] 札幌エルプラザ 2階ミーティングコーナー
[出席者] 星田、後藤(義)、横山、山下、阿部、後藤(純) [記録]
[審議内容]

<組織>

・新規加盟者及び退会者なし、会費未納者15名(振込み用紙を機関誌に同封)

<広報>

・ホームページのアクセス数→70714(前月比+223)
・メールマガジン→5月30日、162号 440部

<情報・宣伝>

・マスコミ掲載4件→朝日(4/20)、(5/24)、読売(5/24)
以上3件は Heroldo de HEL n-R0 153 に記載。

・初夏合宿についてのマスコミ掲載2件→
道新「知っ得北海道」(6/14)

道新折り込み地域紙—西区(6/14)、

・パンフ→JEI発行のパンフ300部受領、裏面にHELのメールアドレスと連絡先として、後藤純子のTEL/FAX番号を入れたゴム印を作って押す。

<教育・研究>

・札幌→土曜例会：会話、輪読「華岡青洲の妻」、月曜例会「ロビンソン・クルーソー」、入門講座2名(かでの1、豊平区の施設1)
・苫小牧→「シグナルとシグナレス」を終わり次第「マリブロンと少女」5月の入門講座は、受講希望者なし。

<機関誌>

・6月15日、153号、10ページ、90部発行

・機関誌交換→北米(SFERO)にはHeroldoのURLを知らせてあるので今後郵送不要。

ウラジオには、引き続き郵送。それ以外に投稿者があれば送る。
国内の交換機関誌についても交換先をチェックして、整理する。

<年間計画>

・学習会(合宿)→参加者のクラス分け、テキストについて話し合う。会場は、12時に開ける。

・エルプラ祭り[9月6日(土)]に今年も参加する。事前ミーティングには、7月24日(木)—後藤ス、8月23日(土)には横山が参加する。

・北海道大会[10月18(土)、19(日)]にかでの2・7で実施の内容については、引き続き、海外からの参加の講演者を検討中。

<次回委員会>

☆8月3日(日)午前中機関誌印刷、発行作業、午後1時から委員会(場所は6月と同じく、エルプラ2階のミーティングコーナー)

[編集後記/Redaktanto parolas]

- *この号ではエスペラント (E) 文の投稿がありませんでした。しかしE文併記の投稿があったので複数ページのE文があった、と思ひましょう。
- *その E文併記の原稿。今見たら Sugiaj polenoj が目についた。Kio estas "Sugia"? Vortaro にない。これを使うなら、説明必要でしたが、気づくのが遅かった。
- *「初夏合宿反省」で阿部さんが書いていますが、あの歌はプロ歌手の独唱でみんなで歌うにはちょっと無理でしたね。だが—今より頭も声もよかった十代のころ愛唱した歌もあってなつかしかった。La Du Grenadistoj はナポレオンのモスクワ遠征で敗れて逃げ帰るフランス兵の悲しみと無念の歌。最後にその愛国心を歌うところはフランス国歌のメロディーでした。
- *初夏合宿「中級講座」に書いた当時のロシア極東のエスペラント運動の事情は 2年前の日本大会 (札幌) に来るはずだったが惜しくも病死したウラジオストクの S-ro Aleksandr Titajev の文からとりました。この文は1891年以後110年あまりの極東地域E運動小史と言える内容です。日本で読んだ人は少ないようだし、Heroldo に転載しようか、と思ひます。

北海道エスペラント連盟 会費/年

正会員 3000円、 青年会員 (26歳未満) 1500円、
購読会員 2000円、 家族会員、失業者など割引 1000円

HOKKAJDA ESPERANTO-LIGO

*Redaktas la Organo Fako de HEL
c'e HOSIDA Acus'i

Miyanomori 2-18-18, TOMAKOMAI
053-0844 JAPANIO

TEL-FAKS: 0144-74-2539

Retadreso: hosidaacus@kir.biglobe.ne.jp

*Sekretario: KAWAI Yuka

*事務局: 川合由香

N-ro 143, Simin-Katudo-Sapoto-Senta

〒060-0808 札幌市北区

Sapporo L-Plaza 2F, Kita 8 Nisi 3

北8条西3丁目札幌エルプラザ

Kita-ku, Sapporo, 060-0808 Japanio

市民活動サポートセンター レターケース No. 100

TEL-FAKS: 0126-62-4636

Retadreso: nordano@sea.plala.or.jp

*TTT-ejo: <http://www.hokkajda-esp-ligo.jp/jp/index/index-j.htm>

*Postgirkonto (郵便振替): 02700-6-17075